

受付印	<b>家事審判申立書 事件名( 氏の変更 )</b>						
<table border="1"> <tr> <td>収入印紙</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>予納郵便切手</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>予納収入印紙</td> <td>円</td> </tr> </table>	収入印紙	円	予納郵便切手	円	予納収入印紙	円	<p>(この欄に申立手数料として1件について800円分の収入印紙を貼ってください。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">印紙</div> <p>(貼った印紙に押印しないでください。)</p> <p>(注意) 登記手数料としての収入印紙を納付する場合は、登記手数料としての収入印紙は貼らずにそのまま提出してください。</p>
収入印紙	円						
予納郵便切手	円						
予納収入印紙	円						

準口頭	関連事件番号	平成・令和	年(家)	第	号
-----	--------	-------	------	---	---

<input type="radio"/> <input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 令和 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	<b>乙 川 春 子</b> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span>
---	-----------------------------	--

添付書類	※ 標準的な申立添付書類については、裁判所ウェブサイトの「手続の概要と申立ての方法」のページ内の「申立てに必要な書類」欄を御覧ください。
------	--

申 立 人	本籍(国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府県 <b>〇〇市〇〇町〇番地〇</b>
	住所	〒 <b>〇〇〇 - 〇〇〇〇</b> 電話 <b>〇〇〇 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇〇</b> <b>〇〇県〇〇市〇町〇番〇号〇〇マンション〇〇〇号室</b> ( 方)
	連絡先	〒 - 電話 ( ) (注: 住所で確実に連絡ができるときは記入しないでください。)
	フリガナ氏名	<b>オ ッ カ ワ ハ ル コ</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">昭和</span> <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日生 <b>乙 川 春 子</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">平成</span> <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日生 <b>令和</b> ( <input type="radio"/> 〇〇 歳)
	職業	<b>会 社 員</b>
※ 上の者	本籍(国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府県 <b>申立人の本籍と同じ</b>
	住所	〒 - 電話 ( ) <b>申立人の住所と同じ</b> ( 方)
	連絡先	〒 - 電話 ( ) ( 方)
	フリガナ氏名	<b>オ ッ カ ワ ア キ オ</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">昭和</span> <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日生 <b>乙 川 秋 男</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">平成</span> <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日生 <b>令和</b> ( <input type="radio"/> 〇〇 歳)
	職業	<b>無 職</b>

(注) 太枠の中だけ記入してください。  
 ※の部分には、申立人、法定代理人、成年被後見人となるべき者、不在者、共同相続人、被相続人等の区別を記入してください。  
 別表第一 ( 1 / 2 )

【婚氏続称後に、実方の姓への変更を希望する場合】

申 立 て の 趣 旨

申立人の氏「乙川」を「甲野」と変更することを許可するとの審判を求めます。

申 立 て の 理 由

- 1 申立人は、昭和〇年に乙川太郎と婚姻し、長男秋男（平成〇年〇月〇日生）をもうけました。
- 2 申立人は、乙川太郎と平成〇年〇月〇日に協議離婚しました。その際、長男が、当時中学在学中のため、婚姻中の氏を称することとしました。
- 3 長男は本年3月高校を卒業し、社会人となることとなりましたので、婚姻前の氏である「甲野」に変更する許可を求めます。なお、長男秋男は申立ての趣旨のとおり氏を変更することに同意しています。

【外国人の配偶者の通称の氏への変更の場合】

申 立 て の 趣 旨

申立人の氏「乙川」を「甲野」と変更することを許可するとの審判を求めます。

申 立 て の 理 由

- 1 申立人は、昭和〇〇年〇月〇日、金夏男（国籍 大韓民国、通称名 甲野夏男）と婚姻しました。
- 2 申立人は、上記婚姻時より現在まで、夫の通称名の「甲野」を使用してきました。
- 3 なお、申立人には同籍者として、長男秋男（平成〇年〇月〇日生）がいますが、申立ての趣旨のとおり氏を変更することに同意しています。